

苦小牧のコケ観察 (蘚苔類)

その2 錦大沼のコケ

コケ分布地図

1. コフサゴケ	11. ヒロハツヤゴケ	21. イボミズゴケ
2. ハイゴケ	12. クサゴケ	22. コスギゴケ
3. チャボスズゴケ	13. コツボゴケ	23. ヒメミズゴケ
4. カラスヤスデゴケ	14. トサカゴケ	24. ジャゴケ
5. トヤマシノブゴケ	15. ナミガタタチゴケ	25. ウニバヒシヤクゴケ
6. オオサナダゴケモドキ	16. エダツヤゴケ	26. コセイタカスギゴケ
7. エゾヒラゴケ	17. ヒナイトゴケ	27. イボカタウロコゴケ
8. エゾイトゴケ	18. スズゴケ	28. イトハイゴケ
9. アオモリサナダゴケ	19. ネズミノオゴケ	29. カラフトキンモウゴケ
10. イワイトゴケ	20. イタチゴケ	30. カモジゴケ

※判定基準： 難しい1←→5優しい 目安： 難しい△ 割と優しい○ 優しい◎



16. エダツヤゴケ

倒木 (3 ○)

倒木などに枝が重なるように張り出し、べったりと張り付く感じで群落をつくる。葉が緑のときも薄茶色のときもしっとり感がある。



17. ヒナイトゴケ (スズゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) 樹上でスズゴケと同じように枝を広げるように上向きに見られるが、スズゴケより枝が細い感じで、枝分かれも多い。葉の色は濃い緑色。



18. スズゴケ (スズゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) エゾヒラゴケ・ヒナイトゴケと一緒に樹幹を這い、2次で枝張り出し上向きに付く。。枝の太さは中間ぐらい。全種のヒナイトゴケにも似るが、それより太い。



19. ネズミノオゴケ (アオギヌゴケ科)

樹幹基部 (5 ◎)

(特徴) 丸みのある葉が円柱状で先端に向け先が細く尖り、いかにもネズミの尾のように見える。大きく姿に変化がないので同定しやすいコケ。



20. イタチゴケ (イタチゴケ科)

樹上 (4 ◎)

(特徴) 樹上から1本ずつ上に反って曲がり、先がイタチのしっぽのように見える。このコケも同定しやすいコケ。



2 1. イボミズゴケ (ミズゴケ科)

湿原 (2 △)

(特徴) 一株一株ボリュームのある傷ゴケで、淡緑色より更に白っぽく、中心部は淡茶色。全体が淡茶色に見える群落もある。比較的盛り上がった丸いコロニーを作る。



2 2. コスギゴケ (スギゴケ科)

地上 (4 ◎)

(特徴) 茎が短く、茎の上に葉をまとめて付ける。葉は細く尖る。蒴 (サク：胞子が入っているところ) は白い綿毛に覆われている (スギゴケの仲間の特徴)



2 3. ヒメミズゴケ (ミズゴケ科)

湿原 (2 △)

(特徴) 目視だけでは同定は難しいが、ミズゴケの中でもボリュームがなく繊細な感じで判断する。淡緑色、一部で透き通るような更に淡い緑も見られる。



2 4. ジャゴケ (ジャゴケ科)

地上・岩 (5 ◎)

(特徴) 地表や岩場を平べったく這う。一見、ヘビ皮のようで間違えることはない。間違えるのはヒメジャゴケぐらい。また、最近の研究で葉の裏側を透かしてみると赤紫色に見える種はオオジャゴケ分類して見た方がよいようだ。



25. ウニバヒシヤクゴケ

地上 (3 ○)

(特徴) 苔類のコケで葉がウニの葉(トゲ)があるような感じから付けられたのかもしれない。ルーペでその葉の歯は確認出来る。ただ、この群落を探すのは難しいかもしれない。茎の先は緑だが茎の下部は茶色で群落自体が茶色に見える。



26. コセイタカスギゴケ (スギゴケ科)

地上 (2 △)

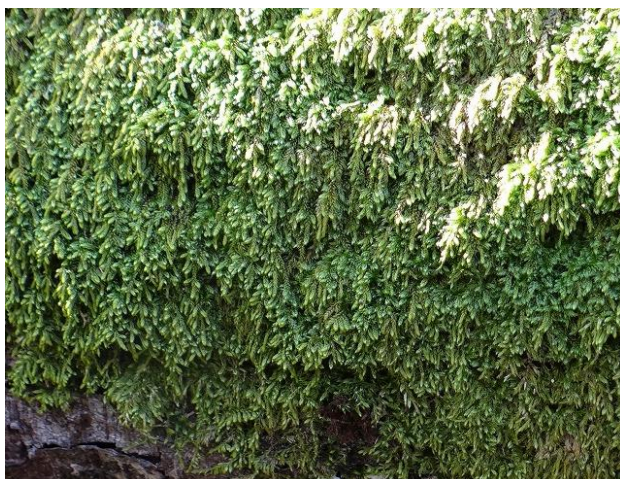
(特徴) 山間部に覆いスギゴケの仲間で葉の幅が他のスギゴケより広い。また、林道の土手の上にはセイタカスギゴケが立ち上がっているが、コセイタカスギゴケは、その傾斜面に茎を下向きに群落をつくることが多い。



27. イボカタウロコゴケ (カタウロコゴケ科)

地上 (3 ○)

(特徴) 一見、多肉植物のようで、丸い葉が折り重なり、茎の先では葉は小さめになる。ときに葉先が紅色になることがある。



28. イトハイゴケ (ハイゴケ科)

倒木 (3 ○)

(特徴) 倒木などに密に這い群落をつくる。ハイゴケの特徴として葉先が一方に曲がる。倒木の横で流れるように這う。



29. カラフトキンモウゴケ(タチヒダゴケ科)
樹上(3 ○)

(特徴) 樹幹の中間に小さくこんもりとした丸い集合体を作る。葉の横から顔を出す蒴は帽を覆っていて、ルーペで観察すると細かい金毛の様に見える。



30. カモジゴケ(シッポゴケ科)
地上(2 △)

(特徴) オオシッポゴケやシッポゴケに似るので判別は付きにくい。茎に付く仮根は茶色。オオシッポゴケも仮根は茶色だが、カモジゴケは葉先が細く長く尖るので見分けが付く。葉の上部は溝状になっている。乾くと一方に鎌形に曲がる。